



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～
今回は市川市にお伺いしました。



市川市サッカー協会 審判委員会は今年で設立20周年になります。

登録メンバーは、4級:3名、3級:36名、2級:12名。そのうち、9名が女子審判委員です。

11月25日(土)市川市立第八中で行われた「宮田招待Jrユースサッカー大会」を利用した4級と3級の実技更新研修に参加された皆さんをご紹介します。

この日はインストラクターとして県協会から山崎久氏、田中雅之氏が派遣されました。



- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①:氏名(敬称略) | ②:審判歴 | ③:審判になったきっかけは？ |
| ④:審判活動で印象に残っていること | ⑤:これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |



- ① :杉田直樹
 ② :16年
 ③ :子がサッカーを始めていたのですが、妙典小学校開校時で審判員が不足しているので、とりあえず取ってと言われて。
 ④ :社会人リーグの審判で、地元市川の中学校卒業生が、試合前に挨拶に来てくれたことがとても印象に残っています。
 ⑤ :試合後の挨拶で「ナイスレフェリー」とお互いのチームに言われた時



- ① :遠藤万紀
 ② :10年
 ③ :息子の所属チームの手伝いで審判取得したのがきっかけです。その後、市川の審判委員会で勉強をさせていただきハマってしまっただけです。(笑)
 ④ :大学生の同好会の大会の決勝でアシスタントレフェリーを務めた際、試合を決定づける得点のシーンでノットオフサイドの判定をしたことです。微妙なシーンだったので選手から声も上がったのですが、インストラクターを務めてくださった方々にナイスジャッジと褒められたことが、すごく嬉しくその後の審判活動への自信に繋がりました。
 ⑤ :選手たちの、「ああ楽しかった」、「悔しかった」、「嬉しかった」、という色々な思いを少しでも感じる事ができた時、すごく幸せを感じます。



- ① :石川安久
- ② :25年
- ③ :子供がサッカーを始め、お手伝いを始めてから。
- ④ :審判を始めた時期、サッカー経験があったのにジャッジが全くできず、そこから勉強するようになった。
- ⑤ :自分のジャッジで選手が楽しくプレーできる場を作れることが嬉しいです。



- ① :近藤崇
- ② :25年
- ③ :子供がサッカーをやっていたため
(自身はプレーヤー継続中)
- ④ :コーナーキックのボールが自分の背中に当たったこと。
- ⑤ :勝っても負けても涙を観れる子供たちのサッカーからは離れられません！



- ① :野坂慶一
- ② :27年
- ③ :子供の帯同審判から
- ④ :決定的な得点機会の阻止の場面(ゴールエリア内のハンド)で対応できなかったこと
- ⑤ :サッカーと審判が好き

2017年度第2回関東フットサル審判員研修会レポート

2017年11月3日(金)～5日(日)に神奈川県で開催された第2回関東フットサル審判研修会に参加された室田智広氏及び木村拓氏よりレポートを寄稿いただきました。

● 室田智広氏レポート

平成29年11月3日(金)～5日(日)の間に神奈川県立体育センタースポーツアリーナで行われた、第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会及び第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会の審判員を対象とした、2017年度第2回関東フットサル審判研修会に参加した事をレポートします。

参加チーム男子は各都県出場枠8チームに加え開催地枠(神奈川県)、前回優勝枠(千葉県)、及び前年度大会登録枠(東京都32、千葉県24)の計12チーム、女子は各都県出場枠8チームにて行いました。各チームとも県予選を勝ち上がった強豪ばかりで、全国大会につながる関東の1枠を争う白熱した試合が展開しました。

参加審判員は各都県から2名参加し、2級昇格後2年以内及び、2級昇格を目指す3級審判員が参加しました。各参加者とも、都県を代表して参加しているので大変意識も高く、質の高い講習会となりました。

3日(金)の初日、午前中は全体ガイダンス終了後に地元神奈川県サッカー協会フットサル部の皆さんと大会用のコート作りを実施後、レフェリー実技講習を関東フットサルビーチサッカー協会強化育成部長松井隆氏のもと行いました。実技講習はほとんどが初対面の審判員なので、声を使わずに生年月日を伝え合う等のアイスブレイクから始まり、動きを伴ったウォーミングアップを実施後、フリーキック時の壁の距離コントロールを重点的に行いました。審判員がピッチ内に侵入せずに壁の距離をコントロールする方法や、笛の音の強弱で審判員の意思を選手に伝える方法などは大変勉強になりました。